

令和3年度 会務・事業報告

【会務の総括】

第73回定時総会において選出された猪飼新会長のもと、執行部を一新してのスタートを切った。感染症拡大は依然として収束せず不安定な状況が続く中、従前の価値観や様式を見直し新たな局面に対応した組織運営と事業実施が求められた一年となった。特に対面集合形式からWebデジタルコミュニケーションにシフトした各会議や研修会の開催は一定の成果を得ることができたと思われる一方、懇親機会はほぼ自粛となり対面集合でのコミュニケーションの必要性も強く感じる事となった。

その中で本年度より新たに始まった全国統一の年次研修は感染状況を見極めつつ中信ブロックにおいて集合形式で無事実施が出来た。本会研修会はeラーニング視聴・担当委員会作成動画のYouTube配信という代替形式で実施され一定の評価を得ることが出来た。関係各位の尽力に感謝します。また本年より支部再編についての検討諮問委員会が設置され会員アンケートの実施や支部長会及び理事会での意見交換をふまえ、年度末に委員会より骨子案が提案されている。会員減少や会員高齢化問題は現に役員途中交代等弊害をきたしている。冒頭述べた新たな局面にも対応できる組織運営のため、次年度さらに支部再編問題を含め議論し会員相互理解を深めることが重要と考える。あらためて会員各位には一層のご理解とご協力をお願い致します。

以下会務・事業についての実施状況概要。(各事業部詳細は後述)

1. 正副会長会議

4月から3月にかけて11回実施(うち6回Web会議)。

総務、財務、業務研修、広報、社会事業部の活動について役員間で意識を共有することに努めるとともに、緊急の課題や直近の会務に関する方針、長期的な課題を協議した。

2. 理事会

新体制後6月、9月、12月、3月の4回実施(うち2回Web会議)。

理事全員が全事業部の活動を理解し、地元支部と本会との連携に取り組んだ。

3. 支部長会議

7月、11月、2月の3回実施。(うち1回Web会議)

支部代表である支部長と本会執行部との意見交換を目的に正副会長部長との合同会議と併せ開催し、本会への意見・要望事項の聴き取りと各支部へ本会事業の理解とお願い等に取り組んだ。

4. 関東ブロック協議会担当者会同への参加(Web会議)

3月に総務、業務、研修、広報部門について各部長・担当副会長が関東ブロック内の担当者と単体会で抱える諸問題について意見交換を行い、他会の活動を参考に当会の業務改善に活かせる有意義な議論ができた。